

コープみらいの未来 社会的責任報告2016 発行にあたって

「コープみらいの未来 社会的責任報告2016」をお届けします。

コープみらいは2015年度も引き続き「CO・OP とともに はぐくむくらしと未来」の理念のもと、ビジョン2025で掲げた「食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協へ。」の実現を目指して事業と活動を進め、社会的責任の取り組みを進めてきました。

食の分野では、あらためて生産者と組合員・消費者をつなぐ「産直」の意義を確認し、明日の農業の担い手である若手生産者との交流や産地との連携の強化に踏み出すとともに、食育「たべる、たいせつ」の取り組みを地域のさまざまな場で広げました。地域社会づくりの分野では、宅配・店舗・福祉などの事業のインフラと組合員のマンパワーを生かし、高齢者見守り活動、子育て層の支援などを進めるとともに、「コープみらい社会活動財団」を設立し、地域社会の課題解決に尽力されている団体を表彰・助成する制度を整備しました。また全国の生協とも力を合わせて、東日本大震災をはじめ東日本集中豪雨被害などの災害復興支援の取り組みを継続して進めました。環境の分野では引き続き再生可能エネルギーの創出や組合員参加のリサイクル、環境配慮商品普及などに取り組み、職員組織の分野では「人に優しく」、「誇りがもてる」組織づくりに向けたワークライフバランスと行動指針浸透の取り組みを広げました。

コープみらいは、これからも食と食料、環境、少子高齢化、格差・貧困など暮らしと地域社会を取り巻く課題に対して、事業と活動を通じて、全国の生協や行政・諸団体とのネットワークも積極的に推進しながら取り組んでまいります。

この冊子は、コープみらいの2015年度の社会的責任の取り組みについてまとめ、ステークホルダーにお知らせするために発行するものです。多くのステークホルダーの皆様とのコミュニケーションの基点となる情報開示を目指しています。ISO26000の規格を参考に、コープみらいが重要と考え、取り組んでいる活動の中から主なものを報告いたします。

コープみらいのステークホルダー	組合員・消費者、職員、お取引先、地域社会、未来社会
対象期間	特に断りの無い限り2015年度(2015年3月21日～2016年3月20日)のものですが、一部2016年度の活動も含んでいます。
対象範囲	コープみらいの活動を中心に報告していますが、コープネットグループ(4頁参照)全体で行っている活動についても記述します。また、グループとしての取り組みでは、コープみらいの取り組みだけ(数字を含む)を表現することができない場合もあります。
発行年月	前回2015年7月 今回2016年8月 次回2017年8月予定



理事長
新井 ちとせ